

英國立バンガーユニバーシティ アイルランド国立ダブリン大学トリニティカレッジ アカデミックコース



特徴1：英・アイルランド国立大学直属のプログラム

英國立バンガーユニバーシティおよびアイルランド国立ダブリン大学トリニティカレッジ教養課程の一部を受講することにより、英語力の徹底的な強化に加え、海外大学でも通用するアカデミックスキルを確実に身につけます。両大学教員による本格的でアクティブかつ多彩な英語関連科目に加えて、「プレゼンテーション」や「メディア論」等の基礎教養科目も履修することで、英国の大学において「英語で」学ぶというアカデミックスキルの基礎を短期間で修得できます。

特徴2：ホームステイで生きた英語を習得

日本人学生の受け入れ経験豊富なホストファミリーにホームステイすることで、リスニングおよび日常会話能力を飛躍的に向上させることができます。

特徴3：豊富なフィールドトリップで英国の自然・文化を直接体験

定期的に行われるフィールドトリップでは、世界遺産の城をはじめ、美しい自然と建物に囲まれた街等を訪問します。また、事前学習や現地での課題をこなすことにより、観光しながらも英語を学びます。



英國立バンガーユニバーシティ アイルランド国立ダブリン大学トリニティカレッジ アカデミックコース

アイルランド最高峰の国立ダブリン大学トリニティカレッジと世界クラスの英國立バンガーユニバーシティでネイティブの学生と肩を並べて授業を受けるための、英語力と教養を身につけるダブリン大学トリニティカレッジ教養課程(Trinity Foundation Programme)。この教養課程の一部を受講することにより、英語力の徹底的な強化に加え、海外大学でも通用するアカデミックスキルを確実に身につけるのが「アカデミックコース」です。豊かな自然と数々の世界遺産に囲まれた英国バンガーユニバーシティで温かいファミリーと過ごしながら、海外の大学で通用する真の英語力を身につけてください。

バンガーヨリバシタリティー市長 からのメッセージ



Bangor is a small, friendly City with a static population of 13,500 that is enhanced by a further 12,000 University students during the academic year. You will find our people to be warm and welcoming. I am delighted to support the Institute of Japanese Studies in welcoming prospective students to our City of Bangor. I hope many of you will consider coming to study at Institute of Japanese Studies Study Abroad Programme and at our University. I can assure you that you will be very well looked after by the Institute of Japanese Studies and by your host families. Jean Forsyth, 90th

バンガーヨリバシタリティーは定常人口 13,500 人、大学の学期中は 12,000 人の大学生によって人口が増える小規模な親しみのある街です。バンガーヨリバシタリティーの市民がみなさんを温かく迎えてくださることに、きっと気づくでしょう。新しい学生を迎える日本研究所をサポートできることを大変嬉しい思います。多くの学生が日本研究所の留学プログラムおよび私たちの大学で学ぶことを考えていただけるのを願っています。日本研究所やホストファミリーの皆さん、親身になって尽力してくださることを、私はここに保障します。 第90代バンガーヨリバシタリティー市長 Jean Forsyth

バンガーヨリバシタリティー大学 学長からの メッセージ



Bangor is situated in an area of outstanding natural beauty and there is a very special atmosphere in this student city. Bangor is a safe and friendly place to live. Crime rates are amongst the lowest in the UK. We are very proud that our teaching is rated 'outstanding' and among the best in the UK, and our own students consistently put us in the Top 10 for student satisfaction and that our Welfare and Student Services were recently shortlisted for a National Award for Outstanding Student Support. Our first foundation course was created especially for Japanese students, so we particularly welcome students who have attended the Institute of Japanese Studies Study Abroad Programme and then return to Bangor for their degree course.

Professor Edmund Burke, Vice-Chancellor

バンガーヨリバシタリティーは壮大な美しい自然のある地域に位置しています。そして、そこにはまさに学生の街と言えるような非常に特別な雰囲気があります。バンガーヨリバシタリティーは安全で親しみやすい街です。また、犯罪率においては英国内では最も低いといわれています。当大学の教育指導が、英国内において最優秀の評価を頂いたことを大変誇りに思っております。また、当在学生から、例年、学生満足度において高い評価を受けており、バンガーヨリバシタリティー大学は学生満足度英国トップ10に入っています。福祉と学生へのサービスでは最近、国内の賞において、最優秀学生サポート賞の最終候補にノミネートされました。バンガーヨリバシタリティー大学における最初のファンデーションコースは、日本人学生のために特別に設立されました。私たちは、日本研究所の留学プログラムに参加し、専門課程を学ぶためバンガーヨリバシタリティーに戻ってくる学生を特に歓迎します。

学長 Edmund Burke

多彩な授業プログラム

限られた期間の中で、英語力を伸ばす授業だけでなく、大学生ならではのアカデミックな内容まで、アクティブで多彩な授業プログラムが用意されています。バンガーヨリバシタリティー大学、ダブリン大学トリニティカレッジ教養学部の教員がそれぞれの専門分野を指導します。担当教員の豊富さは大学直属のプログラムならではのものであり、他の語学学校が行う語学研修では通常不可能なものとなっています。

現地学生との交流

現地学生との交流の場として、バンガーヨリバシタリティーのソサエティー^{*}の一つである、ジャパン・ソサエティーを課外活動として紹介しています。バンガーヨリバシタリティー大学内でトップ5に入る大きなソサエティーで、約15か国以上の多国籍な学生が参加しています。日本に興味のあるバンガーヨリバシタリティー大学生が所属しており、主に日本文化を紹介し、一緒に体験や交流をします。インターナショナル・ネイティブの同年代の友達をつくる貴重な機会となるでしょう。

* ソサエティー：日本の大学のサークル活動に該当します。



質の高いホームステイ

ホームステイはリスニング力および会話力を伸ばすのに最適な手段です。このプログラムで使用するホストファミリーはすべて長年日本人学生を受け入れている経験豊富な家庭ばかりで、温かく迎えてくれ、週末等もファミリーと一緒に過ごす時間が多くとってくれるので、授業以上に英語でコミュニケーションができる最良の機会となります。

時間割の例

※実施スケジュールをもとにした一例です。

年度により、スケジュールや授業科目に変更がありますことを了承ください。

	AM		Lunch	PM	
	9:00-10:30 Academic Writing	11:00-13:00 Listening and Pronunciation		14:00-16:00 Presentation	
Mon	英文独特の表現や句読点の使い方などを学ぶ。英文レター、エッセイなど多方面に活用できる効果的な論述スキルを学ぶ。	リスニング演習、イントネーションやリズムなど発音の構成を学び、自然な発音の向上に焦点をあてる。		プレゼン練習を通し、話の組み立て方法・ボディーランゲージ・見やすい資料作成など効果的な発表スキルを学ぶ。	
Tue	9:00-10:30 Discussion	様々なテーマで意見交換しながら、自身の意見を明確に英語で伝える対話力を高める。		11:00-12:30 Academic Reading	13:30-15:00 Media Studies
Wed	9:00-10:30 Academic Speaking	ロールプレイにて様々な場面を想定し、必要に応じて英語で対話できるよう、コミュニケーション力を向上させる。		11:00-13:00 About Field Trip	14:00-16:30 Field Trip
Thu	9:00-10:00 British History and Culture	英国の文化や歴史、マナー、ホームステイ先での過ごし方を学ぶ。		10:30-12:00 Coursebook for IELTS	13:00-14:00 Introduction to Welsh and History
Fri	9:00-10:30 Grammar	英文法を英語で学び、問題演習を通して、英文法を強化する。		11:00-13:00 Specialised Programme	14:30-16:30 Project Work
				学生の興味のある分野に合わせた、授業や見学トリップ（*約10プログラム）を実施。	14:00-16:00 Academic Research Sessions (Self Studies)

*Specialised Programmeの例:現地の小学校で生徒へ日本文化を紹介、博物館を訪れるアートトリップ、名誉教授による経済学講義、ビジネス学入門など(内容は年度によって異なります。)

期間中の生活について

期間中はホームステイ先から各自バスあるいは電車で通学します。交通機関もシンプルでわかりやすく、ホストファミリーもサポートしてくれるので安心して通学できます。

平日の昼食は各自で自由にとります。プログラムを実施する教室はバンガーハウスの中心部にあり、容易にパンやその他の食べ物を購入したり、店の中で食べることができます。

このように通学や昼食の買い物等を自分ですることで、英国で自らの力で生活しているという意識を持つことができ、英語力だけでなく精神面でも大きく成長することができます。

個人旅行

コース中には、週末を含む5日間連続の休暇を設ける予定です。その際や週末を利用して、バンガーハウスの近郊のお勧めスポットや英国内の大都市に行くことが可能です。英国は公共交通機関が発達しており、大都市へのアクセスも便利です。

※個人旅行をする場合、保護者と在籍大学の承諾が必要です。原則2名以上の旅行をお願いしております。

※在籍大学によって異なる場合がありますので、詳細は学内担当者、または当方にお問い合わせください。

実施期間

冬期：成人式後の1月上旬（中旬）～3月下旬の約10週間

※具体的な日程は、年度により数日前後する場合があります。



SNSのご案内



X (ID:Twitter)



Instagram



*研修先の様子、留学中の学生の様子等、最新情報を随時投稿しています。

三木悠未佳さん（北海道武蔵女子短期大学）

先生方が優しく分かりやすく教えてくださったおかげで英語力の向上につながり、留学を経験し、様々な価値観に触れることで人生観も変わりました。また、自信や積極性も身につくという貴重な経験を得ることができ、その結果、大きな夢だった航空会社に就職することができました。ホストファミリーは本当の家族のように接してくれて、数えきれないほどの思い出ができました。帰国後もビデオ通話をしたり、定期的に連絡を取り合っています。イタリア旅行に行った際には、ホストファミリーがサプライズで現地に来てくれ、一緒にローマ観光をしました。留学期間は間違いなく素敵な出会いがあり、私の人生で1番充実した期間でした。



平山凜さん（北海道武蔵女子短期大学）

今回の留学で、英語力はもちろん、人として成長できたと感じています。現地で先生から学ぶ英語は日本で学ぶものとは専門性が大きく異なり、IELTSのスコアアップに繋がりました。少人数制なので、先生と学生一人一人との繋がりが濃く、手厚いサポートを受けられました。授業後には友達とカフェに行ったり、現地のバンガーハウスでご飯を食べに行ったり、休日は自分たちでバスや電車に乗ってロンドンに旅行に行ったりしました。ホストファミリーとはうまく噛み合わないこともありましたが、それを放つておくのではなく、どう解決するかを考えて、周りに相談したり自分で行動を起こしました。留学はその人の意識の高さによってどれだけ成長できるかが変わると思います。積極的に行動したり、日本語を使わず英語を喋ろうとしたりすることで、日本に帰ってくる頃には成長し変わった自分になれると思います。



愛媛大学の学生さん

《コースについて》

苦手だったアカデミック英語を克服したいと思い参加したところ、授業を受講する中でコツを掴み、英語力を向上させることができました。英国の歴史や文化、文学を読み進める授業も興味深い内容でした。定期的にある面談では、自身の弱点や克服させるポイントに気づくことができ、効率的に英語の学習をすることができました。就職活動中は留学で得た英語力を評価していく機会が多くあり、この英語力が決め手となり、希望していた大手企業に入社することができました。

《ホストファミリーとの思い出》

ホストファミリーに恵まれ、帰国の別れが寂しく涙するほどにたくさんの思い出を作ることができました。一緒に出かけたり料理を作ったりしながら、英国の様々な文化について教えてくれました。革新しているものもあれば、伝統を重んじる英國らしい文化が生活に色濃く残っているものもあり、それらを体感することができたのは貴重な経験です。英国の家庭料理は想像していたよりも随分美味しい驚きました。日本ではあまり馴染みのないオープン料理や生活の中で食文化についても学ぶことができました。また、英国を学ぶだけでなく、私が日本について紹介することもありました。ホストファミリーに日本の料理（生姜焼き、お好み焼き、味噌汁）を振る舞った際は美味しいと喜んでくれて、自国の料理を褒めてもらえたことがとても誇らしかったです。留学後もZoomやメールで連絡を取り合っており、関係が続いています。

フィールドトリップ先　※一部抜粋です。



【カナーヴォン城】

エドワード1世が1283年から48年もの歳月をかけて築いた中世のお城で、チャーチルが皇太子時に戴冠式を行ったお城としても知られています。世界遺産で天空の城ラピュタのモデルにもなりました。お城はまるで迷路のようになっており、塔を上がってお城を一周することができます。タワーと呼ばれる、お城の一番高いところからはカナーヴォンの街並みや、海、山が一望できます。



【チェスター】

中世ローマ人が作った、城壁に囲まれた大変美しい街です。チューダー様式の建物や壮大な大聖堂が有名です。中世の雰囲気が漂う美しい街を見渡しながら環状に延びた城壁を歩くことができます。またイギリスで最も美しいショッピングの街としても知られており、デザイナーブティックから若者に人気のあるファストファッションまで、様々なお店がそろっています。



【ヒャンディドウノ】

ビクトリア時代から続く保養地・ビーチリゾートで、海浜保養地の女王（Queen of resorts）と異名を持ち、白浜のビーチに沿ってパステルカラーのホテルや別荘が並んでいます。『不思議の国のアリス』の著者ルイス・キャロルがここで執筆活動をしました。そのため、街には登場人物のオブジェが点在しています。また、研修中には、ホテルやカフェで本場のアフタヌーンティーを味わいながら、英国ならではの文化と歴史を学んでいただきます。



【コンウェイ】

街全体が世界遺産に登録されています。エドワード1世によって造られたコンウェイ城があり、2019年には姫路城と姉妹城提携を結び、日本との繋がりが深まりました。また、メインストリートには500年以上前に財や名誉を築いた権力者のお屋敷であるプラスマウワーがあります。建物内部は当時のまま保存されており、その時代の人々の生活を垣間見ることができます。